



避難訓練を行いました

避難訓練を、3日（火）に行いました。今回は、あがた保育園の子どもたちも一緒に参加してくれました。

二学期の避難訓練では、巨大地震が発生し、児童昇降口の下駄箱が倒れて通れないという設定で行いました。どの経路を通れば外に出られるのかを事前に把握し、その場の状況に応じて自分で考えて行動することがいかに大切かを学びました。

また、いつ来るかわからない地震に備え、おうちでも避難経路や近くの避難場所の確認を子どもたちと一緒にしていただきたいと思います。



夏休み校内作品展

夏休み校内作品展には、多くの方々にご参観していただきありがとうございました。この中から、三泗小中科学展・社会科展（9/7～9/9：文化会館）に県小学校の代表として出品された作品を紹介します。



★三泗小中科学展・社会科展への出品作品の紹介

<科学展>

◇ありをさがそう ◇こどもピーマンのかんきつとけんきゅう	(1年生) (2年生)	◇干し野菜と色々な乾物 ◇微生物の世界をのぞいてみた!!!	(4年生) (5年生)
◇ひょう本のひみつとこんちゅう	(3年生)	◇砂糖	(6年生)

<社会科展>

◇まちのおみせのくだものまっぷ	(1年生)	◇ぼくが住む地区の農業 昔と今	(4年生)
◇津波はこわい!!!津波から命を守るには	(2年生)	◇日永うちわと東海道	(5年生)
◇じしんのそなえは大丈夫?	(3年生)	◇四日市市にある災害を防ぐものを調べました	(5年生)
◇牛のひみつ	(3年生)	◇四日市公害とかんきょうについて	(5年生)
◇四日市おしろ発見	(4年生)	◇給食～給食から食べる事を考える～	(6年生)
◇地震と防災	(4年生)		

訂正 前回の学校だよりで、スクールカウンセラー（田中先生）の来校日が12日（木）19日（月）26日（火）となっていましたが、12日（木）19日（木）26日（木）です。訂正させていただきます。

★「平成31年度全国学力・学習状況調査」の結果から

4月18日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が7月末に出ました。昨年まで国語A・B、算数A・Bとありましたが、本年度は、国語、算数の2科目が行われました。国語の正答率は全国平均を若干下回りましたが、算数の正答率は全国平均を若干上回りました。無回答率は低く、最後まであきらめずに取り組むことができましたと思います。また、質問紙調査からは、生活習慣や学習に対する意識が概ね全国と同じでした。

分析結果と改善点の概要は次の通りです。今後も授業を見直し、学力向上に努めていきます。

1 国語科について

昨年度は、全領域で全国平均を下回っていましたが、今年度は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において全国平均を上回りました。

書くことは、全国平均を下回っていました。情報を相手にわかりやすく伝えるための記述を工夫したり、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にしながらまとめて書いたりする指導を継続していきます。

2 算数科について

4つの領域（数と計算・量と測定・図形・数量関係）のうち、3領域（数と計算・図形・数量関係）で全国平均を上回りました。特に、図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成する力をみる問題は、全国を大きく上回っています。このことから、図形の問題への理解が高いことがわかります。

ただし、問題の読み取り（理解）や記述に課題が見られるので、「読む」「書く」といった言語活動を充実させていきます。

3 児童質問紙から見える6年生の実態

(1) 強み

- ・早寝、早起き、朝ごはんの項目は、やや上回る結果で、生活習慣がよく身についています。
- ・「学校の決まりを守っている」「人が困っているときは進んで助ける」「いじめは絶対に許せない」の項目は全国よりも高く、規範意識が身についています。

(2) 弱み

- ・自分の良いところ（自己肯定感）を認めている児童の割合が全国よりも低いです。
- ・将来の夢や希望を持っている児童の割合が全国を下回っています。
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する児童の割合が全国を下回っています。

4 学力・学習状況改善の取り組み

(1) 学校（授業等）では

- 「あがたっ子スタンダードルール」を基に、学習規律や生活習慣の確立を目指します。
- 朝の学習や家庭学習を通して漢字・計算・音読などのくり返し学習を継続するとともに活用力を問う問題や、調べ学習等も行っています。
- 学習内容の習得には個人差があるので、子どものつまずきに応じた個別指導を行います。
- 表現力を育成するために、自分の言葉でまとめたり説明したりするなど「書く」「話す」学習を重視した授業を実践します。
- 本に親しんだり、家庭読書を推進したりして読書活動を充実させていきます。
- 児童自らが「考えたい」「解決したい」「知りたい」と思える授業を創り出します。
- 学級全体や小グループなど子どもたち同士で学び合う授業を創造していきます。
- 正解や成功を求めすぎず、挑戦することの大切さや過程を大切に、ほめるように意識していきます。

(2) 家庭では（協力をお願い）

- 早寝・早起き・朝ごはんの習慣化はほぼできています。
- 規範意識（きまりを守るなど）を高めるような働きかけを引き続きお願いします。
- 今後とも、お子さんの良いところをほめ、認めてあげていただくようお願いいたします。